

管理運営事業報告



令和2年（2020年）5月
小平市民活動支援センターあすぴあ指定管理者
特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク

目 次

事業総括	2
施設・設備の利用状況	
1. 登録団体	3
2. 施設および備品の利用状況	4 ～ 5
事業の実施状況	
1. 市民活動の裾野の拡大事業 こだいら人財の森	6 ～ 7
2. 学習および交流の機会の提供	8 ～ 12
3. 市民活動に関する情報の収集および提供	13 ～ 18
4. 問合せ・相談・支援	18
5. 職員・理事・事業部会員の市民活動支援力の向上	18
6. 利用者の要望・意見の把握	19 ～ 23
7. 他機関・施設・組織との情報交換やネットワークづくり	24 ～ 26
8. 施設見学の受け入れ等	26
9. その他	26
10. 登録団体一覧	27 ～ 30
11. 令和元年度経費の収支状況	31

事業総括

NPO 法人小平市民活動ネットワークがあすびあの指定管理者になって 10 年目になりました。

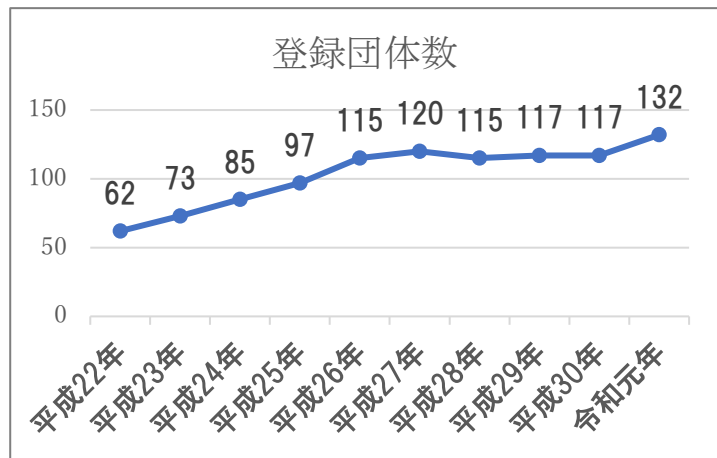
指定管理 3 期目の 2 年度となる今年度、4 月に 117 団体でスタートした登録団体数は、積極的な声かけと、こだいら人財の森事業をきっかけとした登録もあって、年度末には 132 団体になりました。ここ数年、登録団体数は横ばい状態が続いていましたが、年間で 15 団体増加というのは嬉しいことでした。あすびあに登録するメリットを、施設としてのハード面だけでなく、イベント企画や情報提供、マッチングなどのソフト面も打ち出して一層アピールしていきたいと思います。

こだいら人財の森事業も本格稼働して 1 年、個人や団体の登録数も、専門員を介したマッチング事例も少しずつ増えています。市民活動は特別な人の活動ではなく、人々の日常の暮らしの隣にあります。誰もが地域の中で役にたったり、ゆるやかにつながれる仲間を得て暮らしていけるように、この事業をよりいっそう定着させるために、年度後半に地域デビュー体験講座を企画実施しました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2 月一杯で事業を中断し、令和 2 年秋に再開することにしました。

10 月の台風 19 号では、初めての臨時休館対応を行いました。また、上記新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、3 月 2 日から年度を跨いで臨時休館を再三延長しました。人と人とのつながりを大事にするボランティア・市民活動にとって、それ自体がリスクになるという非常に厳しい対応を求められる事態となりました。そこで、今回の事態が市民活動にどのような影響を及ぼしているか、それに対して市民活動団体はどのような運営の工夫や配慮をしているか、さらに今後の支援策などのアイデアを共有するために、令和 2 年 4 月 3 日から 7 日まで臨時アンケートを実施することにしました。

1. 登録団体

2019 年 4 月に 117 団体だった登録団体数は、積極的な声かけと、こだいら人財の森事業をきっかけとした登録もあって、年度末には 132 団体になりました。ここ数年、登録団体数は横ばい状態が続いていましたが、年間で 15 団体増(新規登録 19、取り下げ 4)というのは嬉しいことでした。取り下げの理由は、会員の高齢化とそれに伴う退会者の増加、そして親子の団体は子どもの成長とそれに伴う親の生活状況の変化によるもので、いずれも致し方ない事情です。



2019 年度新規登録団体は以下の 19 団体です。

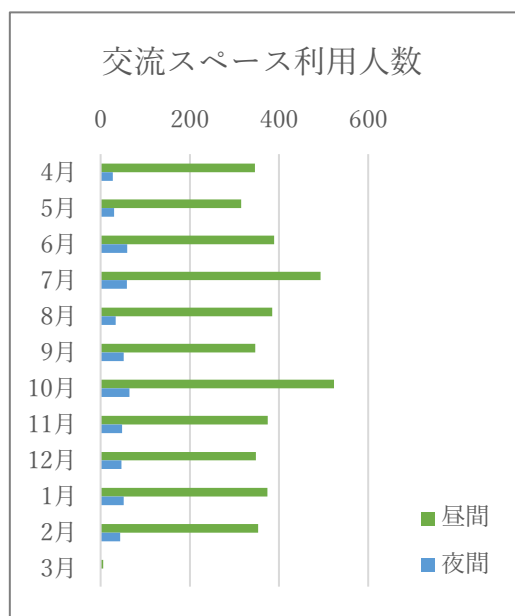
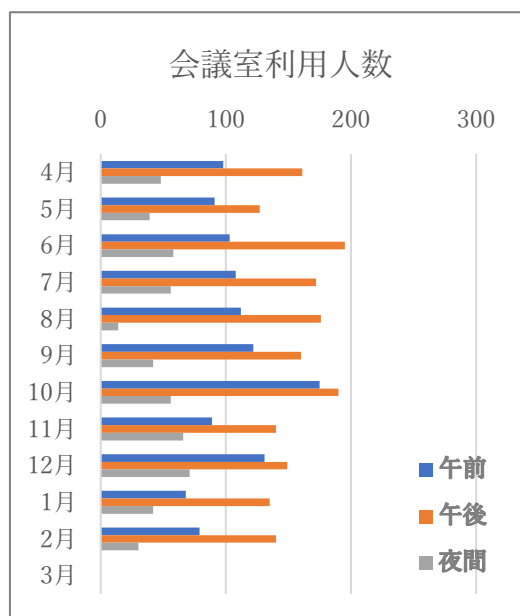
- 藍なり
- Comi Café
- 小平・ワーカーズまちの縁がわ ちっちゃいおうち
- マジックむさし会
- 小平・環境の会
- 昔あそび応援団
- 平和と未来のひろば・小平実行委員会
- 鈴の会
- ここ☆ちあーず
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック小平市民プロジェクト
- 東京ファシリテーションクラブ小平
- 多胎児サークルこだついん
- 一般社団法人小平青年会議所
- iPhone を楽しむ会
- にじいろパズル
- 認定非営利活動法人コミュニティケアリンク東京
- 高齢者社交ダンス虹の会 社交ダンス普及会
- 一般社団法人こだいら観光まちづくり協会
- ヒッポファミリークラブ萩山

なお、現在の登録団体一覧は 27～30 ページを参照してください。

2. 施設および備品の利用状況

① 会議室&交流スペースの利用状況

年月	開館日数	会議室								交流スペース			合計 人数
		午前		午後		夜間		合計		昼間	夜間	合計	
		人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	人数	人数	人数
2019/04	24	98	13	161	16	48	4	307	33	346	27	373	680
2019/05	21	91	12	127	13	39	2	257	27	315	30	345	602
2019/06	26	103	14	195	18	58	4	356	36	389	60	449	805
2019/07	25	108	15	172	18	56	3	336	36	493	59	552	888
2019/08	26	112	16	176	17	14	2	302	35	385	34	419	721
2019/09	24	122	14	160	16	42	4	324	34	347	52	399	723
2019/10	26	175	16	190	15	56	4	421	35	523	65	588	1,009
2019/11	23	89	13	140	15	66	5	295	33	375	48	423	718
2019/12	24	131	15	149	14	71	5	351	34	348	47	395	746
2020/01	23	68	11	135	15	42	3	245	29	374	52	426	671
2020/02	23	79	13	140	15	30	3	249	31	353	44	397	646
2020/03	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	7	7
合計	266	1,176	152	1,745	172	522	39	3,443	363	4,254	519	4,773	8,216



＊新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日から休館しました。

・会議室は、パソコンを使用して活動する複数の団体が定期的に利用しています。昨年度末に Wi-Fi ルーターを設置し、インターネット環境がさらに向上しました。

・交流スペースは、会議室を借りるほどではない打合せ、大きなテーブルで印刷後の仕分け丁合作業や展示物の作成など、団体登録をしていなくても利用できます。備え付けの文房具を使うこともできます。また、セルフサービスのドリンクコーナーがあり、会議室使用の後に立ち寄って休んでいかれる方や、元気村館内の他施設の職員や利用者の利用などが見られます。

② 機器（印刷機等）の利用状況（単位：枚）

印刷機	マスター@¥50 印刷代@¥20/100 枚 *紙は持ち込み	231, 200
複写機	白黒@¥10 カラー@¥30 (A4、A3 とも)	1, 506
貸出パソコン	A4 モノクロ @¥10	861
ラミネーター	A3@¥30 A4@¥15	136

・印刷機は、単色印刷の他に、黒・赤・青・緑の4色のうち2色を使う2色印刷も可能です。
また、印刷前にあすびあの貸し出しパソコンで原稿の修正をしたり、USB メモリーを印刷機につないで印刷することもできます。



会議室 定員 30 名



リソグラフ簡易印刷機



貸し出しパソコン



ラミネーター



長テーブル



交流スペース



ドリンクコーナー



1. 市民活動の裾野の拡大事業 こだいら人財の森

小平市にはたくさんの市民活動団体があります。高い理念や意識をもって活動していますが、人手や技術が足りず困っている団体もあります。一方、「社会貢献活動がしたい」「空いた時間を有効活用したい」と思っている方から「どこに連絡すればいいかわからない」という声も聴いています。そんな方々のため、双方を結びつける事業として当事業はスタートしました。

*人財：人が持っている経験・人脈・技能などを大切な財産と考え、「人材」ではなく「人財」と名づけました。

◆説明会

- ・団体登録説明会 2019年4月6日(土) 中央公民館 参加団体 14団体
- ・個人登録説明会 7月6日(土) 東部市民センター 参加者 18人
11月6日(水) 小川西町公民館 参加者 1人

◆登録状況

・個人登録…「好きな分野の団体に入って社会参加したい」「持っているスキルで時々団体を支援して社会貢献したい」の2通りの登録があります。多彩なスキルを持つ方が市内にたくさんいることがわかりましたが、その一方で、興味や関心を活かしたい方々の登録はあまりありませんでした。

個人登録を進めるにはさらに工夫が必要です。

・団体登録…当初、「会員募集」は登録の範疇に入れませんでした。1年間様子を見た結果、具体的な会員像がわかる文言でニーズ登録を促すことにしました。

・令和2年3月末現在、個人登録30人、団体登録15団体となっています。

◆専門員によるマッチング

地域の役に立ちたいという市民と、意欲ある人を求める市民活動団体をつなぐために、専門員を配置し、丁寧な面談を経てマッチングを行いました。令和2年3月末現在のマッチング数は10件です。

◆委員会

年間13回にわたる委員会を開催し、利用のきまりや様式の見直し、東京都の補助金を活用した「地域デビュー体験講座」の実施について検討しました。年度最後の3月の委員会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中断した「地域デビュー体験講座」を令和2年秋に再開することを決めました。

◆東京都の「高齢者による地域活動応援事業」補助金を活用した「地域デビュー体験講座」

〈目的〉現役時代は仕事に邁進していて、地域とのつながりがないシニア世代は多く存在する。そこで、「これから地域でなにかしたい」と考えているシニア世代に気軽に参加できるメニューを紹介し、体験してもらう連続講座を開催し、「こだいら人財の森」の活用を促すきっかけづくりを行うことで、地域で活躍する元気シニアを増やし、市民活動の裾野を拡げ、地域活性化につなげる。



〈企画・運営〉地域デビュー体験講座実行委員会 委員 24人
実行委員会 6回開催

〈講師〉 広石拓司氏（株式会社エンパブリック代表）

【プロフィール】

東京大学大学院薬学系修士課程修了後、シンクタンク、NPO 法人 ETIC.を経て、2008 年(株)エンパブリックを創業。「思いのある誰もが動き出せ、新しい仕事を生み出せる社会」を目指し、地域や組織の人たちが知恵と力を持ち寄る場づくりと、社会課題解決型の事業開発や起業に役立つツールやプログラムを提供している。ここ数年は東京都生活文化局主催「東京ホームタウンプロジェクト」にも関わっている。小平では、平成 25 年および 27 年の中央公民館シルバー大学のプログラムの企画・運営に関わっている。

〈プログラム〉

◇受け入れ団体向け説明会 2020 年 1 月 24 日（金）14：00～16：00 体験受け入れ団体 12 団体
講師・広石氏から、団体が体験者を受け入れるにあたっての心構えを聴きました。

受け入れ団体（12 団体、50 音順）

右脳いきいきクラブ、小平井戸の会、小平おもちゃの病院、小平・環境の会、小平子ども食堂まるちゃんカフェ、小平市地域包括支援センター、NPO 法人小平シニアネットクラブ、小平図書館友の会、熟年いきいき会、NPO 法人ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会、マジックむさし会、昔あそび応援団

◇講演会 & フリートーク 同年 2 月 8 日（土）13:30～16:00 小平市福祉会館小ホール

講演：「人生 100 年時代を生きる知恵～小平をホームタウンとして使いこなそう～」

講師 広石拓司氏（(株)エンパブリック代表）

参加者 57 人、そのうち体験講座申込者 27 人

人生 100 年時代は、何歳からでも学び、新しいことを始めるのが当たり前になる。会社員として主婦として自分の役割を担ってきた人が、新しい出会いを通して新しい挑戦を始め、新しい自分、新しい役割を発見し、もっと人生を充実できる時代になる。でも新しいことを始めるのは少し不安、なかなか一歩を踏み出せない。そういう時に、一歩を踏み出すにはどうしたらいいか、地域での活動を楽しむのには何が大切かを話していただきました。講演を聴いた後は、グループに分かれて、参加したきっかけを話すと共に自己紹介しあい、講演会の感想や最近気になること、これから始めてみたいことなどを語り合って交流しました。

◇体験講座

ステップ A 「団体を知ろう！」 2 月 15 日（土）13:30～16:00

参加受講生 23 人が 24 の体験メニューから活動を選択し、エントリーシート提出者は 14 人でした。

ステップ B 「活動しよう！」 2 月 16 日～3 月 20 日

各自が選択した活動を体験中でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため 2 月 28 日で体験活動を中止しました。

ステップ C 「想いを共有しよう！」 3 月 21 日（土）13:30～16:00

体験した活動を振り返りながら受講者間で交流する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和 2 年秋に延期しました。

2. 学習および交流の機会の提供

あすぴあの特徴は「市民参加」です。3つの事業部会には多くの市民が関わっています。

イベント部会	パワーアップ講座や交流サロンの企画・実施
広報部会	「あすぴあ通信」の取材・編集・発行
フェスタ部会	元気村まつりの運営

① 学習会（市民活動パワーアップ講座）・講演会の開催

●「NPO 会計・税務講座」

2019年6月1日、8日、15日（いずれも土曜日、13:30～16:00、連続3回）

講師：馬場利明さん（税理士、社会保険労務士、NPO 会計税務専門家ネットワーク理事）

参加者のべ 38 人

あすぴあのパワーアップ講座として恒例の会計講座で、講師はわかりやすいと評判の馬場利明税理士です。一日目はNPOの基礎知識と会計について、二日目は例題の実習、B/S、P/Lの作成、事業報告書の作成について、三日目はNPO法人の税務についてでした。その都度、活発な質問が出て、参加者アンケートでもほぼ全員が目的を達成したという結果でした。



●「人が集まるイベントチラシの作り方～伝えたい人に伝えられるチラシを作ろう！～」

2019年9月18日、10月2日、16日（いずれも水曜日、10:00～12:00、連続3回）

講師：渡辺早苗さん（デザイン Sana）

参加者のべ 49 人

講師は、あすぴあ広報部会で「あすぴあ通信」の編集や、講座のチラシ・ポスターを手がけている渡辺早苗さん。実は渡辺さん自身もかつてあすぴあ主催の広報講座の受講生でした。渡辺さんには、参加者が知りたかったテクニックやデザインの事をきめ細かくわかりやすく教えていただき、参加者も自分の団体のイベントに人が集まるチラシを作りたいという強い希望を持ち、毎回教室内は自由な意見交換と熱気が溢れていました。出来上がったチラシは、ビフォー/アフターの作品として講師のコメント付きで元気村まつりで展示しました。希望者には、あすぴあの2色印刷で配布用100枚を提供し、団体のイベント広報をサポートしました。



●「そうだったのか！ SDGs（持続可能な開発目標）～カードゲームとレゴ®ブロックで理解しよう～」

2019年12月8日(日) 13:30～16:00

講師：井澤友郭さん（こども国連環境会議推進協会事務局長）

参加者 34 人

レゴ®ブロックを使った独自の手法で SDGs の概念を体感するワークショップを全国各地で開催している井澤友郭氏を講師に迎え、聞いたことはあるけどよくわからない SDGs を楽しみながら理解する目的で講座を開催しました。10～80 代までの幅広い年代の方々が参加し、専用のカードゲームで世界の環境・経済・社会状況を疑似体験しレゴ®を使ってそのふりかえりと「自分が考える豊かな世界」を表現するワークショップを行いました。



●講演会「企業の広報戦略を市民活動にどう生かすか」

2020年1月18日(土) 13:30～16:00

講師：玉川岳郎さん（工機ホールディングス㈱マーケティング&コミュニケーション室長）

参加者 17 人

多くの企業でマーケティング&コミュニケーションの仕事に携わり、チームを率いた経験を持つ玉川岳郎氏を講師に迎え、市民活動団体の課題解決のヒントを得て、少しでも団体の活性化に繋がたいと考え講演会を開催しました。団体や一般市民の方達が熱心に講師の話を聞き、企業のマーケティング広報戦略についての考え方や伝達の仕方を学び、グループでの話し合いを持ち、市民活動に生かせるヒントに繋がる内容でした。



② 市民活動交流サロンの開催

●「東京 2020 大会と市民活動」

2019 年 7 月 21 日（日）13:30～16:30

ゲストスピーカー：小平市文化スポーツ課、東京 2020 オリンピック・パラリンピック小平市民プロジェクト、NPO 法人ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会

参加者 13 人

大会がいよいよ 1 年後に迫ったことから、市の文化スポーツ課、東京 2020 オリンピック・パラリンピック小平市民プロジェクト、NPO 法人ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会の方々をゲストスピーカーに迎えて開催しました。市職員からは「これを小平のまちづくりの最大のチャンスにしたい」、オリパラ市民プロジェクトからは、スポーツ、環境、文化の 3 本柱での活動が紹介されました。またぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会からは、震災後 8 年たっても未だ復興半ばの現状がある中でのオリパラ大会に対する思いが語られました。それを受けて参加者からは、外国人留学生やボーイスカウトとの連携等の提案があり、ここをきっかけに新たな取り組みが生まれることを期待します。



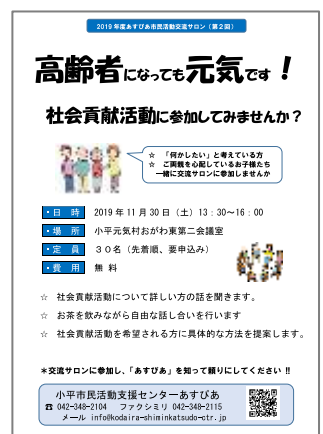
●「高齢者になっても元気です！社会貢献活動に参加してみませんか？」

2019 年 11 月 30 日（土）13:30～16:00

ゲストスピーカー：小平市地域包括支援センター、こだいらボランティアセンター、見守りボランティア登録者、健康ポイント事業参加者

参加者 9 人

元気な市民の皆さんに集まっていただき、小平市の「介護予防見守りボランティア」や「健康ポイント」及びボランティア活動への参加要領などについて話し合いました。出席された方々は既にボランティア活動をされていて、経験談を交えての意見が出され、ゲストスピーカーも加わり、特に家に引きこもって孤立している高齢者の社会参加について活発な意見交換を行いました。



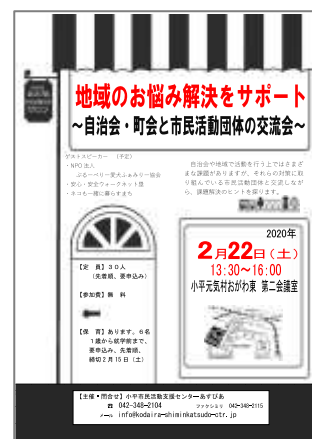
●「地域のお悩み解決をサポート～自治会・町会と市民活動団体の交流会～」

2020年2月22日（土）13:30～16:00

ゲストスピーカー：ネコも一緒に暮らすまち、安心・安全ウォークネット罌、NPO 法人ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会

参加者 17 人

地域の課題解決に向けて活動している3つの団体をゲストに迎えました。「ネコも一緒に暮らすまち」はネコとよりよく共生できる地域のつながりの話が、「NPO 法人ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会」からはイエローチョーク作戦について、「安心・安全ウォークネット罌」からは15年間続けている夜回りの活動が紹介されました。自治会の方々が多く参加していたので、これら以外にも自治会の規模の大小や組織率、世代交代など地域の課題がたくさん話されました。



●「市民活動団体と考える小平の防災」

2020年3月12日（木）13:30～16:00

ゲストスピーカー：小平井戸の会、NPO 法人ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会、3.11 等に学ぶ小平の減災を考える会、こだいらボランティアセンター等

中止

2012 年から毎年開催している「忘れない 3.11 展」の会期中に、そのイベントの一つとして、3.11 展参加団体と共に災害時の避難所について考える交流の場を持つことにしました。そして、話し合った内容をグラフィックレコーディングを用いて記録として残す予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。



③ 元気村まつり 2019 の開催

・今年度は、元気村全体が一つになってこのイベントを盛り上げようという思いで、名称を「NPO フェスタ」から「元気村まつり」に改称し、館内の他の施設も実行委員会に加わってもらいました。

・参加団体は 69 団体、そのうち新規参加は 12 団体で、「人と人がつながり仲間をつくろう！」をテーマに開催しました。

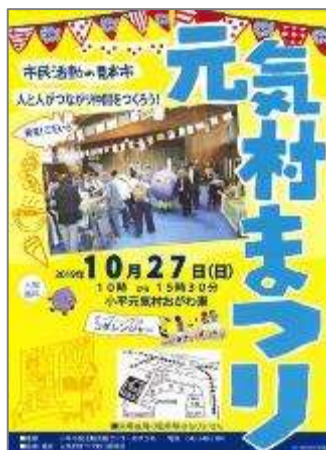
・実行委員は参加団体から 17 名が集まり、当日に向けて協議を重ねました。また、実行委員の役割を明確にしたり、ビブスを購入して誰が見てもわかりやすいように工夫しました。

・今年の特徴の 1 つは、今までの来場者の要望を踏まえ、飲食部門を充実させたことです。いつもの豚汁やおこわ、パンや和菓子その他、クレープやタピオカ、お弁当も販売し、長時間滞在してもらえるよう工夫しました。また、2 つ目の特徴として、子ども関係の団体や若い子育て世代向けの団体を多目的ホール周辺に集め、賑わいを創出しました。

・広報面では、チラシも例年より 500 枚多く 4,500 枚印刷し、萩山団地含め広く配布した結果、当日の天候も幸いして 1,250 名の来場者がありました。

・市長のタウンミーティングも会場の一角で開催し、意見交換の場が持たれました。

〈実行委員会〉5 月 11 日（土）、6 月 14 日（金）、7 月 13 日（土）、8 月 17 日（土）、9 月 13 日（金）、10 月 19 日（土）の全 6 回開催
〈全体会〉9 月 7 日（土）、10 月 4 日（金）の全 2 回開催



3. 市民活動に関する情報の収集および提供

① あすぴあ通信：66～71号まで6回、毎回4000部発行しました。

◆あすぴあ通信 66号（2019年5月末発行）

- ・特集「しらべてみました 数が減っているようです 子ども会の現状」
- ・団体紹介（WAKATAKE MARCHE わかたけマルシェ、NPO 法人幸齢社会づくり協会）
- ・本の紹介『子どもが増えた！ 明石市 人口増・税収増の自治体経営（まちづくり）』
- ・その他：あすぴあ登録と「むすぶ」掲載の違いについて、こだいら人財の森登録受付中、今後のイベントの予告など



◆あすぴあ通信 67号（2019年7月末発行）

- ・特集「しらべてみました 農のあるまち こだいらのミドリ」
- ・団体紹介（ダンスパフォーマンス集団 迫～HAKU～、みんなでつくる音楽祭 in 小平、comi café）
- ・その他：小平市提示型公募事業市民活動支援公募事業の見直しについて、今後のイベントの予告、パワーアップ講座「NPO 会計・税務講座」報告、元気村まつり全体会のお知らせ など



◆あすぴあ通信 68号（2019年9月末発行）

- ・特集「元気村まつりの予告」
- ・団体紹介（マジックむさし会、昔あそび応援団）
- ・本の紹介『組織評価のすすめ にっぽんの NPO を元気にする』
- ・その他：こだいら人財の森スタートして半年たちました！、あすぴあリーフレットリニューアル、交流サロン「東京 2020 大会と市民活動」報告、今後のイベントの予告など



◆あすぴあ通信 69号（2019年11月末発行）

- ・特集「元気村まつり」見つけたイイかお、初参加 12 団体および元気村内の4つの施設を中心に写真で元気村まつりを紹介
- ・その他：パワーアップ講座「人が集まるイベントチラシの作り方」報告、今後のイベントの予告など



◆あすぴあ通信 70 号（2020 年 1 月末発行）

- ・特集：こだいら人財の森 地域デビュー体験講座 トライ&エンジョイ体験先の 12 団体が決定
- ・団体紹介（まちでカンパイ！100 人会議“マチカン”、鈴の会、小平シャイニング）
- ・本の紹介『ママたちを支援する。ママたちが支援する。』
- ・その他：交流サロン「高齢者になっても元気です！」およびパワーアップ講座「そうだったのか！SDGs（持続可能な開発目標）」報告、今後のイベントの予告など



◆あすぴあ通信 71 号（2020 年 3 月末発行）

- ・特集「しらべてみました なるほど！出前講座 デリバリーこだいら」
- ・団体紹介（NPO 法人子ども未来研究所「あるあーと」、東京ファシリテーションクラブ小平、多胎児サークルこだついん）
- ・本の紹介『マンガでわかる！自治体予算のリアル』
- ・その他：パワーアップ講座「企業の広報戦略を市民活動にどう生かすか」および交流サロン「地域のお悩み解決をサポート～自治会・町会と市民活動団体の交流会」の報告、「令和 2 年度版むすぶ」完成のお知らせ、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館および事業の中止・延期のお知らせ など

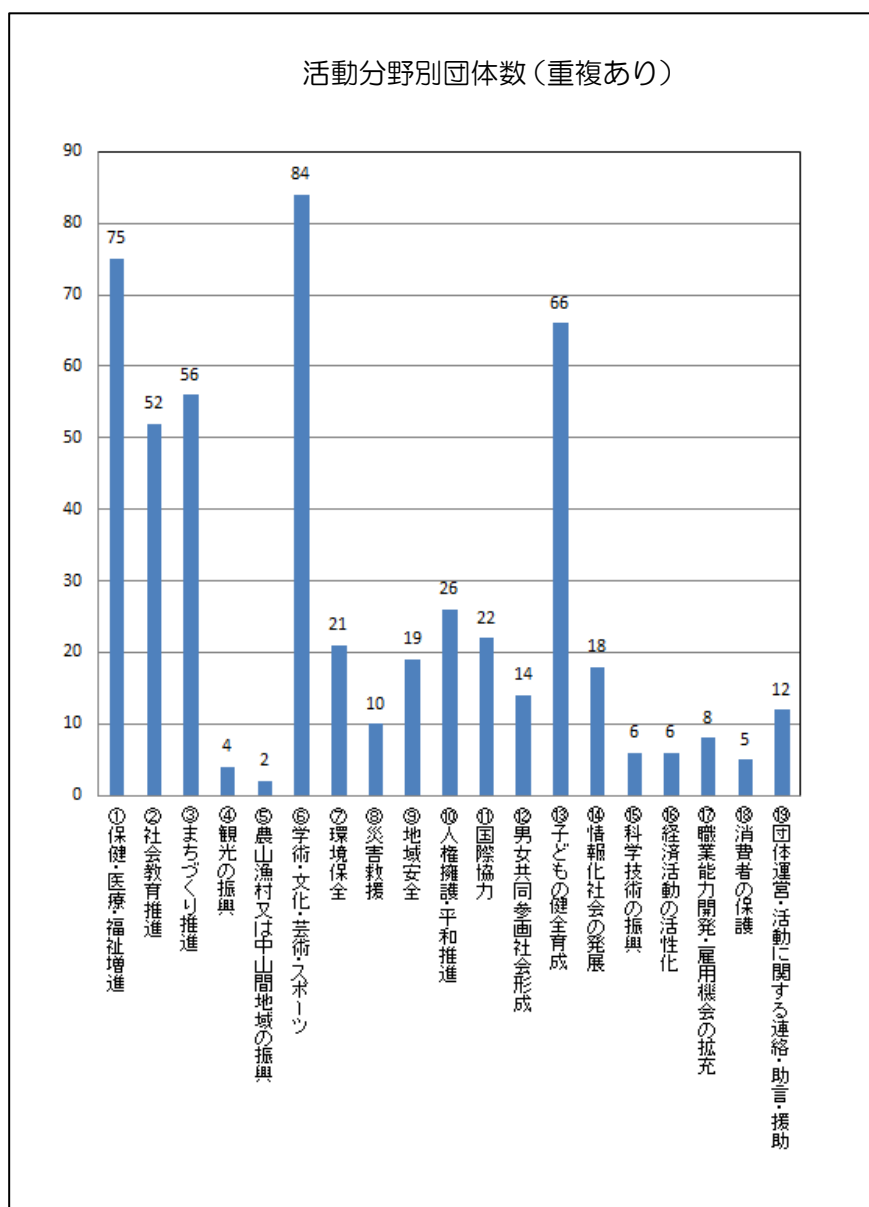


＊「あすぴあ通信」は以下のところに配布・配架しています。

市内公民館、市内地域センター、市内図書館、東部・西部出張所、市役所 1 階資料コーナー、地域振興部市民協働・男女参画推進課、国際交流協会、総合体育館、市内地域包括支援センター、小平市社会福祉協議会こだいらボランティアセンター、福社会館、昭和病院、健康センター、小平市医師会、歯科医師会、西武薬剤師会、民生委員・民生児童委員、市議会議員、市内大学、ルネこだいら、多摩信用金庫一橋学園支店、タウン通信、アサココ、都内のボランティア・市民活動支援センター&行政担当課（一部）、元気村館内、あすぴあ登録団体、情報希望の個人 ほか

② 令和２年度版市民活動団体データ集『むすぶ』

- ・11月から掲載募集を開始し、市内のNPO法人や昨年度地域デビューパーティーでつながりができた団体にも呼びかけた結果、掲載団体は223団体になり、そのうち新規掲載団体は32団体でした。
- ・市内の全ての活動団体を網羅できているわけではありませんが、掲載を希望する団体は趣味のサークルまで幅広く受け入れているため、様々な切り口で活用できるデータ集です。
- ・毎年4,000部発行し、あすびあ窓口のほか、市役所市民協働および1階市政資料コーナー、中央公民館、こだいらボランティアセンターでも希望者に無料で配布しています。また、公民館地区館や地域センター、東西出張所にも配布しているので閲覧が可能です。図書館では貸し出しもしています。
- ・データはあすびあホームページ上でも公開していて、分野やキーワードで検索が可能です。
- ・中央公民館主催のシルバー大学では、カリキュラムの一環で地域の活動団体を探す際に活用されました。その際に行なったアンケート結果を元に、索引部分に改良を加えました。



③ 市報掲載

- ・イベントや各種募集、お知らせ等を、市報発行のタイミングを見てリリースしました。
- ・こだいら人財の森地域デビュー体験講座の予告を2020年1月20日号8面に掲載しました。

④ メディアリリース

- ・東京ボランティア・市民活動センター「ボラ市民Web」や地域のタウン紙等にイベント情報をリリースし、掲載されました。
- ・地域デビュー体験講座を朝日新聞折り込みタブロイド紙『定年時代』に掲載した結果、講演会には市外からの参加もありました。

⑤ ホームページの充実

- ・昨年度末にリニューアルして「市民活動団体一覧」や「イベントカレンダー」などの機能も加わり、市民活動のポータルサイトとして一層充実しました。

⑥ メールマガジンの発行

- ・毎月月末に、あすびあからのお知らせや主催イベントの予告を中心に、助成金情報やその他の情報もピックアップして配信しました。2月から3月にかけては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館のお知らせを臨時号として配信し、通算63号になりました。
- ・登録数は、あすびあ利用登録団体のほか、職員や指定管理者理事と名刺交換した方々、イベントごとに募集した情報希望者などを積極的に加え、約240件に達しています。
- ・パワーアップ講座・交流サロンや元気村まつりのアンケートでも、イベントを知った媒体としてチラシやポスターと並び大事な広報媒体のひとつになっていることがわかります。

⑦ Facebook の活用

- ・ホームページへの誘導も組み込み、随時アップするように努めました。配信コンテンツの数でリーチ数は変動しますが、メールマガジンと同様、大事な広報媒体となっています。SNSは今後ますます大事なツールとなるでしょう。

⑧ チラシ&ポスター等の情報提供

- ・市内の市民活動団体から持ち込まれるチラシやポスターの他、都内のみならず他県からもメールや郵送で情報が届きます。あまり広くはないスペースを最大限活用して多くの情報を提供し、期限の過ぎたものは1部を保存して常に新しい情報を提供するように努めました。
- ・また、登録団体がイベントチラシを窓口を持ち込んだ際には、ホームページ上の「イベントカレンダー」にも掲載できるようにしました。



⑨ 補助金・助成金等の情報収集・提供

- ・センターには、チラシやメール等でさまざまな助成金情報が送られてきます。館内に配架するほか、月末のメールマガジンでまとめて情報を配信し、また該当する団体向けにも随時情報提供しています。

⑩ 団体紹介展示コーナー

・団体の活動を展示で紹介できるコーナーです。今年度は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連の広報スペースとして活用しました。



⑪ 閲覧用図書・資料の整備

・今年度新たに増えた図書や雑誌は以下です。(購入および寄贈本含む)

- 『場づくりの教科書』
- 『ママたちを支援する。ママたちが支援する。』
- 『誰も農業を知らない～プロの農家だからわかる日本農業の未来～』
- 『ダダダダ菜園記～明るい都市農業～』
- 『イエンスの庭時間』
- 『NPO の法律相談 知っておきたい基礎知識 60』
- 『NPO のためのマーケティング講座』
- 『ファシリテーション わたしたちにできること』
- 『組織評価のすすめ にっぽんの NPO を元気にする』
- 『マンガでわかる！ 自治体予算のリアル』
- 『まちづくりの実践』
- 『ソーシャル・キャピタル入門～孤立から絆へ～』
- 『コミュニティデザイン～人がつながるしくみをつくる～』
- 『コミュニティデザインの時代』
- 『NPO と行政・協働の再構築～これまでの 10 年、これからの 10 年～』
- 『シリーズ 新しい自治がつくる地域社会 1 新しい自治のしくみづくり』
- 『同シリーズ 3 変貌する自治の現場』
- 東京ボランティア・市民活動センター機関誌『ネットワーク』
- 大阪ボランティア協会機関誌『ウオロ』



*これ以外の蔵書は、あすぴあのホームページをご覧ください。

⑫ その他の広報活動

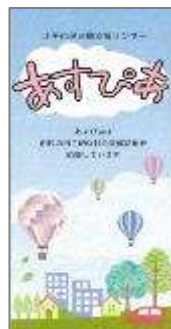
▼広報アクション@市役所 2019 年 10 月 1 日（火）～4 日（金）

あすぴあの認知度を上げるため、元気村まつりやこだいら人財の森事業の宣伝も兼ねて、市役所 1 階ロビーにブースを出して周知活動を行いました。併せて、簡単なアンケートも行いました。その結果、あすぴあを知っている人は 4 割にとどまり、まだまだ周知努力が必要とわかりました。また地域で何か活動している人の割合も 4 割でしたが、人財の森に興味を示す人は 6 割にのぼりました。



▼リーフレットのリニューアル

10 年の節目と人財の森事業が新しく加わったので、リーフレットを全面リニューアルしました。





▼市役所窓口封筒に広告掲載

センター開設 10 周年を記念して、市役所窓口封筒に広告を掲載し、3 月 1 日から使用されています。

4. 問合せ・相談・支援

- ・今年度は合計 66 件ありました。内訳は、問合せが 25 件、相談・支援が 41 件です。
- ・問合せの中身は多種多様ですが、中には、過去に小平で実施したイベントの講師に関する他市からの問合せや、ふるさと村やファミリーサポートセンター、地域生活支援センターあさやけ、公民館など市内各所からの問合せもありました。
- ・相談・支援の中身も多岐に亘り、すぐ回答できるもの、時間を要するため日時を指定して行うものの他、団体の活動に参加してアドバイスやコメントを求められるケースもありました。助成金や企業協賛に関する相談も継続的にありました。

5. 職員・理事・事業部会員の市民活動支援力の向上

① 職員研修

- ・年度初めおよび半ばに、日常業務や個人情報、危機管理に関する研修を行いました。また、こだいら人財の森事業が本格稼働するにあたって別途研修を行いました。
- ・小平市社会福祉協議会主催の「居場所連絡会」に参加しました。

② あすぴあ勉強会

職員や理事、事業部会員を対象に、毎回テーマを決めて学習と情報交換の場を設けました。
〈テーマ〉

- ・『小平市協働推進のための職員ハンドブック（改訂版）』
- ・大阪ボランティア協会機関誌『ウォロ』より「特集 政治と市民活動について」
- ・『NPO マネジメント』より「支援センターの『支援力』を育てるために」
- ・『ウォロ』より「企業の強みからアプローチするコーディネーション」
- ・休眠預金について
- ・東京ボランティア・市民活動センター機関誌『ネットワーク』より「特集 ともに生きる共生社会をめざして～多民族・多文化共生社会のこれから～」
- ・「スフィア基準」
- ・東ボラ機関誌『ネットワーク』より「特集 大学ボランティアセンター」
- ・内閣府調査「NPO 法人における世代交代とサービスの継続性への影響に関する調査」
- ・（一財）経済広報センター「SDGs に関する意識調査」結果報告など

6. 利用者の要望・意見の把握

① 利用者アンケート

期間：2020年1月18日（土）～31日（金）

対象：登録団体、メルマガ等個人登録者、運営サポート会議委員、交流スペース利用者、
元気村館内施設など

方法：アンケート用紙配布、メールにファイル添付、Google アンケートフォーム

回収枚数：85枚

集 計 結 果

《アンケート分析のねらい》

利用者の利用頻度を「初めて」と「初めて以外」に大別し、それぞれについて「利用項目」と「施設の満足度」を把握することによって、事業の達成度を測ると共に課題を発見し、次年度さらに充実させるための方策につなげます。具体的には、

- ① 「初めての利用者」×「利用項目」「施設の満足度」から、初めての利用者の開拓策および継続策の検討につなげます。
- ② 「初めて以外利用者」×「利用項目」「施設の満足度」から、計画達成度と更なる充実策の検討につなげます。

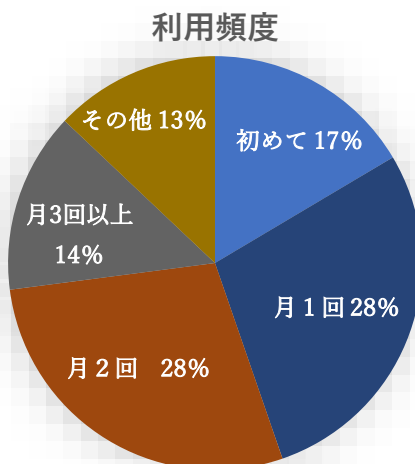
◆ 性別 ： 女 45 人、男 37 人、不明 3 人

◆ 居住地 ： 市内 60 人、市外 23 人、不明 2 人

◆ 利用頻度と年齢構成

(単位：人)

利用頻度	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明
初めて 14人	1	2	2	2	2	2	1	2
月1回 24人		1	3	4	4	10	2	
月2回 24人			3	1	6	11	3	
月3回以上 12人			1	2	5	3	1	
その他 11人			1	3	3	3		1
合計 85人	1	3	10	12	20	29	7	3



◆ 初めての利用者と利用項目

多数の利用項目 (単位：人)

初めての利用者 14 人						
機材	印刷機 1	コピー機 1	プロジェクター 1	ラミネーター 1	紙折機 0	マイク&アンプ 0
施設	交流スペース 1	会議室 0	ドリンク 0			
情報	チラシ 2	掲示物 2	各種資料 2	図書 1	行政情報 0	助成金情報 0
発行物	あすぴあ通信 5	むすぶ 4				
Web	ホームページ 3	メルマガ 1	Facebook 0			
イベント	講座 3	交流サロン 1	元気村まつり 1			
相談	問合せ 1	相談 1	仲介 1			
その他	休憩・食事 2	打合せ 1	その他 0			
人財の森	知っている 4 (サイト閲覧 0 説明会参加 3)			知らない 5		

- ・初めての利用者は施設利用というよりも「あすぴあ通信」や「むすぶ」等の発行物、Web（ホームページ）、イベント（講座）、チラシなどの「情報」を求めていることがわかりました。
- ・この層への継続策と開拓策としては、①せっかく足を運んで講座に参加してくれた人を交流スペースに誘導し他の情報も紹介する、②その層へのリーチ方法として、今までとは違った切り口の学習会や交流会の企画、広報物の配布先の新規開拓、③気になった人がその後あすぴあのホームページで確認することを想定したホームページの充実やまめな更新、などが考えられます。
- ・こだいら人財の森に関しては、初めての方についても比較的認知度が高いことは意外でした。地域デビューパーティー、体験講座等の広報の成果と思われます。

◆ 初めて以外利用者と利用項目

多数の利用項目 (単位：人)

初めて以外利用者 71 人						
機材	印刷機 15	コピー機 14	プロジェクター 11	紙折機 5	ラミネーター 2	マイク&アンプ 2
施設	会議室 45	ドリンク 27	交流スペース 26			
情報	チラシ 33	掲示物 11	各種資料 7	図書 5	行政情報 3	助成金情報 1
発行物	あすぴあ通信 41	むすぶ 21				
Web	ホームページ 23	メルマガ 11	Facebook 3			
イベント	元気村まつり 30	講座 16	交流サロン 12			
相談	問合せ 9	相談 7	仲介 2			
その他	打合せ 29	休憩・食事 19	その他 3			
人財の森	知っている 34 (サイト閲覧 16 説明会参加 4)			知らない 23		

- ・初めて以外利用者は会議室の利用が圧倒的に多く、また交流スペースは会議室使用の後に立ち寄って休んでいかれる方や、元気村館内の他施設の職員や利用者の利用などが見られます。
- ・情報系では、「あすぴあ通信」や「むすぶ」等の発行物がすっかりお馴染みとなり、ホームページも比較的よくチェックされていることがわかりました、また、イベントでは「元気村まつり」の認知度が高いことがわかりました。
- ・こだいら人財の森に関しては、約半数が事業を知っていて、さらにその内の半数がサイトも見たことがあるようですが、一方、知らない人がまだ3割もいるということは、まだまだ周知努力をする必要があります。
- ・ホームページ、メルマガ等で情報を得ている人も多く、今後は、特にメルマガ、Facebook など直接に情報を提供する対象を増やしていくことも大切です。

◆ 利用頻度と施設の満足度

(単位：人)

利用頻度	項 目	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明
初めて 14	A 施設の利用方法	4	2	5			3
	B 施設の使いやすさ	2	5	4			3
	C 開館日・利用時間の設定	2	3	4			5
	D スタッフの対応	5	3	2	1		3
	E 利用目的の達成度	3	3	4			4
	F 全体の満足度	4	3	4			3
初めて以外 月1回 24 月2回 24 月3回以上 12 その他 11	A 施設の利用方法	34	15	16			6
	B 施設の使いやすさ	30	14	19	2	1	5
	C 開館日・利用時間の設定	33	16	12	1	1	8
	D スタッフの対応	46	10	8	1	0	6
	E 利用目的の達成度	32	17	16	1	0	5
	F 全体の満足度	36	10	16	3	1	5

・初めての人に「普通」と回答した人が多いのは他との比較ができないためとも思います。今後「満足」「やや満足」の回答が増えるためには、初めての人の目線のさまざまな工夫、例えば、行動を促すようなわかりやすい案内表示や、職員や関係者からの声かけなどが必要でしょう。

・初めて以外の方が「満足」が多いのは、慣れているので現状に満足しているとも言えます。

◆ 施設の満足度の具体的記述

項 目	満足度	具体的記述 () 内は利用頻度
A 施設の利用方法	満足	飲み物お菓子助かります (月3回以上)
	満足	来る曜日は空いているので (月3回以上)
	やや満足	比較利用希望に応じて貰える (月2回)
B 施設の使いやすさ	満足	来る曜日は空いているので (月3回以上)
	やや満足	比較利用希望に応じて貰える (月2回)
	普通	自宅から遠いので (月1回)
C 開館日・利用時間の設定	満足	来る曜日は空いているので (月3回以上)
	やや不満	使えない時があるので残念 (月2回)
	不満	夜10時までの開館希望 (月1回)
D スタッフの対応	満足	いつも親切に対応して下さい感謝しています (月2回)
	満足	機材の利用など親切に対応 (月2回)
	満足	とても良いです (月3回以上)
E 利用目的の達成度	やや満足	抽選の為使用できないことがある (月2回)
F 全体の満足度	満足	オープンで良いと思います (月3回以上)
	やや不満	ネットの利用をもっと便利に (月1回)

・満足度の高いコメントは職員には大変励みになりますが、その一方で、少数ですが不満を感じている人もおり、どこに不満を感じているかを調べて今後改善する必要があります。

◆ ご意見・ご要望への回答

	ご意見・ご要望 () 内は利用頻度	回答
1	ネットの利用をもっと便利に (月 1 回)	昨年度の利用者アンケートおよび利用者懇談会でご要望が複数ありましたので、今年度当初に会議室にも Wi-Fi ルーターを設置しました。それ以降は「とても便利になった」と好評です。
2	ラジカセ借りたかったけどこわれていました。(月 2 回)	カセット部分が壊れてしまい、ご迷惑をおかけしました。ただ、近年はカセット利用者が激減し、センターとして新たに購入する予定は今のところございません。
3	他サークル(あすびあ未登録)のイベント時の昼食の時に入らせて頂きました。少し入りづらい印象があります。(初めて)	わざわざご利用いただき、ありがとうございます。今後は、少しでも入りやすい雰囲気作りに努めてまいります。
4	今はもう慣れたが、初めて入る時に何となくよそよそしくて敷居の高さを感じた。スタッフからのさりげない声掛けなど初めて訪れた人がホッとできるような雰囲気づくりを心掛けてほしい。(月 1 回)	スタッフが積極的に挨拶したり BGM を流すなど、いらしてくださった方が少しでも居心地よく過ごせるよう配慮していますが、今後も一層気を配ってまいります。
5	ラミネータの使用が 1 回 5 枚までですが、A3 で 12 枚必要だったため使用しませんでした。自分でラミネータを購入しました。(月 2 回)	続けて枚数多く使用すると加熱するため、枚数制限を設けておりましたもので、ご不便をお掛けしてしまい申し訳ございませんでした。間をあけて使用すると大丈夫ですので、枚数制限はなくしました。
6	あすびあ会議室のイスに「あすびあ」のシールが貼ってありますが、はがれているイスもある (不明)	剥がれやすい目印でしたので、黄色いテープに変えました。
7	夜 10 時までの開館希望 (月 1 回)	夜の開館時間は、あすびあの施行条例で決っているため、変更は難しいと思います。
8	Net 予約できるようにしたい (月 1 回)	小平市の公共施設予約システムから予約できるのですが、現在はそのようになっておらずご不便をおかけしております。
9	会議室の予約をインターネット対応にしてほしい (月 1 回)	
10	飲み物の値段が安くなるとよい、ちょっと高め? (月 2 回)	ドリンクコーナーの飲み物はほぼ利益無しの価格設定で提供しておりますのでご理解ください。
11	エアコン、特に夏場の冷房機能アップ。(月 2 回)	昨年夏も数回点検清掃してもらいました。
12	駐車場がもっと広い方がよいと思う (不明)	駐車場は元気村全体のことで、あすびあではどうにもしようがありません。あしからずご了承ください。
13	健康管理のため血圧計が交流スペースにあると便利です。(月 1 回)	確かにあるといいですね。ただ、あすびあとしての備品の優先順位としては高くなりませんのでご希望に沿いかねます。
14	あすびあの周知活動をもう少ししていただけたらいいです。今一つ活用方法がわかりません (年 2 回)	まだまだあすびあが知られていないと感ずることがありますので、活用方法も含めて周知活動には一層力を入れていきます。
15	小平市以外の団体でも利用できますか? (月 1 回)	登録団体の要件 (小平も含めた地域で活動している等) にあえば可能です。

◆ その他の感想など

() 内は利用頻度

- ・いつも気持ちよく使わせていただき感謝しています。さらに人が集まりにぎわいが出るといいなと思います（月 2 回）
- ・休憩室がとても良い（展示・テーブル・イス、飲物）（月 2 回）
- ・あすぴあ会議室に無線 LAN ルーターが常設されたのでとても便利になりました（月 3 回以上）
- ・いつもていねいに接して頂き気持ちよく使わせて頂いてます（月 2 回）
- ・交流室を提供して下さりありがたく思っています（月 3 回以上）
- ・職員の対応も明るく親切な対応で頑張っている（月 3 回以上）
- ・wifi は大助かり（月 2 回）
- ・年に 2 回くらいファミリーサポートセンターの提供会員養成講座の方達の昼食会場として使用させていただいた（年 2 回）
- ・人財の森を利用させていただきました（初めて）
- ・住んでいる所からアクセスしづらいためあまり利用してなくて、答えづらいです（年 2 回）
- ・まだ利用してないのでわかりません。上水南町に住んでいるので遠く感じる（月 1 回）

② 運営サポート会議

- ・センターの管理・運営を公平適正に行うために、登録団体、公募市民、地域住民、小平市社会福祉協議会、有識者等で構成される会議を実施しました。
- ・第 1 回目（2019 年 7 月）では、意見交換のテーマを「あすぴあ通信」に絞って意見をいただきました。その結果を広報部会でも共有し、その後の紙面づくりに活かしました。
- ・第 2 回目（同年 11 月）では、元気村まつりやこだいら人財の森について意見をいただきました。
- ・第 3 回目（2020 年 3 月）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、代わりに年間の事業報告資料や利用者アンケート集計結果を配布して文書で意見を寄せていただきました。

③ 利用者懇談会

2020 年 3 月 7 日（土）に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

7. 他機関、施設、組織との情報交換やネットワークづくり

① 防災・危機管理活動

◇ 消防訓練

- ・理事と職員で自衛消防訓練を行いました。今年は消防署員の指導で AED 訓練も行いました。
- ・元気村全体での消防訓練に参加しました。

◇ 館内連絡会

- ・偶数月に、元気村おがわ東管理人が招集して館内全ての施設から代表職員があすぴあ交流スペースに集まって情報交換を行いました。

③ 地域連携活動

◇ AKVS(地域福祉活動および市民活動の中間支援に関する情報連絡会)

- ・あすぴあ (A)、中央公民館 (K)、社会福祉協議会こだいらボランティアセンター (V)、市民協働 (S) が集まり、それぞれの事業の情報交換をしています。
- ・中央公民館事業の「シルバー大学」では、カリキュラムの一環で地域活動をリサーチする際に市民活動団体データ集「むすぶ」を活用しています。そこで、今年度は当該日にオブザーバーとして参加してアドバイスした他、「むすぶ」の使い勝手をアンケート調査し、その後の編集作業に活かしました。
- ・こだいら人財の森地域デビュー体験講座への集客や、あすぴあ HP「イベントカレンダー」への情報提供に協力を依頼しました。

◇ 自治会・町会等

- ・学園西町地区地域連絡会には継続して参加しました。また昨年度末に発足した学園東町地区地域連絡会にも出席して関係作りを始めました。
- ・年に 2 回、市内全域の自治会を対象に行われる自治会地域懇談会にも可能な限り出席しました。市民活動支援センターを知ってもらうと同時に、地縁型コミュニティである自治会・町会の様子や課題を把握し、市民活動支援センター並びに市民活動団体に何ができるのかを考えるヒントを得られたらと思います。これがきっかけで、地域の環境美化や安心・安全な地域づくりをテーマに市民活動交流サロン「地域のお悩み解決をサポート～自治会・町会と市民活動団体の交流会～」を企画しました。

◇ 中央公民館事業企画委員会

- ・中央公民館を利用している市民やさまざまな団体・所属の方々と共に、公民館事業の企画を検討する会合に 4 月から 9 月まで毎月 1 回参加しました。企画の主な対象は個人、企画内容も社会教育的なものが多かったですが、あすぴあの企画の参考になるものもありました。また、講座後にサークル化したあとは、団体運営の課題を解決するあすぴあの各種講座や、団体同士の交流の場である交流サロンなどがあることもアピールしました。
- ・提案した企画が 2020 年度の事業として採用されることになり、担当者および講師と打合せを行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期となりました。

◇ 忘れない3.11 展への参加

・2020年3月10日から15日までの会期中に、交流サロン「市民活動団体と考える小平の防災」を実施することになり、イベント部会担当者と一緒に実行委員会に参加しました。が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため公民館が休館となったため、中止となりました。

◇ 市民協働主催事業への協力・出席

・協働事業のフォローアップ支援交流会（前年度事業分）や大学連携協議会主催「まちでたのしむ」に参加しました。また、協働の推進に関する職員研修会も傍聴しました。

◇ 第4次長期総合計画策定のための意見交換会に協力

・第4次長期総合計画に市民の意見を反映させる一環として、市民活動団体との意見交換会の相談を受け、「SIM こだいら 2030」実施に向けて登録団体に声かけしました。その結果、20団体が集まって9月にワークショップを開催しました。

◇ 公共施設マネジメントに関する意見交換

・小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備ならびに中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の更新等に関して、地域住民および施設の利用者・利用団体説明会に参加するとともに、担当課と引き続き意見交換をしました。

・あすぴあが再開発後の公共床に移転することが基本整備計画素案に明記されました。

◇ 公共施設の受益者負担に関してヒアリング

・減免等の対象団体を検討するにあたって、あすぴあ団体登録の要件を情報提供しました。

◇ 津田塾大学インクルーシブ教育支援室との交流

・担当の准教授には、有識者として運営サポート委員になっていただいています。
・研究助成の共同研究者として依頼を受け、協力しました。
・大学祭のイベントで市民活動およびあすぴあについて説明する機会をいただきました。
・あすぴあを見学に訪れた際、インクルーシブ教育研究の一助として元気村1階の福祉作業所おだまきの見学を仲介しました。

◇ 小平学・まちづくり研究所

・書籍『小平学・まちづくり研究のフロンティア』第2弾発行に向けて執筆を依頼されましたが、諸般の事情で延期になりました。それに代わり、3月5日にシンポジウムが企画され登壇する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

◇ 市外の諸機関との情報交換・交流

・東京ボランティア・市民活動センター

センター長会議&事務局会議には時間の許す範囲で出席し、他市の中間支援組織の職員と交流しました。また、機関誌『ネットワーク』におだまき製品を紹介し、2020年4月号に掲載されることになり

ました。

・ 7 市・市民活動情報連絡会

八王子、日野、三鷹、西東京、府中、調布、小平の 7 市の間支援組織が集まって半年に 1 度開いているもので、センター長と指定管理者理事 1 名が参加しています。今年度は、8 月に西東京で開催され、各市の運営体制、今年の重点的な取り組み、現役中高年世代にアプローチする方法、企業にアプローチする方法、SDGsなどをテーマに情報交換を行いました。2 月には八王子で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期されました。

・ 西東京市協働推進センターゆめこらぼ

外部評価委員の依頼を受け、6 月から 8 月にかけて委員会に出席しました。

・ 多摩六都科学館

中期事業評価にかかる市民モニターとして会議に参加しました。

8. 施設見学の受け入れ等

① 施設見学

2019 年 6 月 筑波技術大学 3 名

7 月 きよせボランティア・市民活動センター 2 名

8 月 東京ボランティア・市民活動センター新任研修 5 名

10 月 小平市中央公民館シルバー大学第 50 期生 30 名

2020 年 1 月 津田塾大学インクルーシブ教育支援室 4 名

② 大学生のインターンシップ

今年も大学 1 年生 1 名を受け入れました。

9. その他

◇ 市民活動支援センター開設 10 周年について

今年度は、2010 年 4 月にセンターが開設して 10 年目にあたります。10 周年記念事業に関して 4 月から検討を重ねておおまかな筋立てを決め、予算と共に事業案を市に提出しました。が、東京都の補助金を活用した「シニアの地域デビュー体験講座」を実施することになり、10 周年事業に関しては一旦検討を保留しました。

10. 登録団体一覧

あすぴあ登録団体一覧表			
登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
1	H22		視覚障害者パソコン教室
3	H22		小平市けやきの会
4	H22		パソコン徒然草の会
5	H22	特定非営利活動法人	小平シニアネットクラブ
7	H22		はじめてのパソコンサークル
11	H22		小平図書館友の会
12	H22	特定非営利活動法人	小平ハートピア
13	H22		地域生活支援センターあさやけ
14	H22		こだいら参画の会
18	H22	特定非営利活動法人	小平こども劇場
19	H22		こだいら市民提言の会
21	H22	特定非営利活動法人	匠リニューアル技術支援協会
22	H22	特定非営利活動法人	PIANT A TREE PLANT LOVE
23	H22		政治・知りたい、確かめ隊
26	H22		右脳いきいきクラブ
27	H22	特定非営利活動法人	ふれあいアカデミー
29	H22		インドな人口問題を考える会
31	H22		小平ターゲット・バードゴルフ協会
32	H22		うたごえ in 元気村
33	H22		ボーイスカウト小平第二団
34	H22		小平市女性のつどい
35	H22		たまの音楽家
36	H22		いきいき93
37	H22		精神保健福祉ボランティアの会 ひだまり
39	H22		こだいらDV防止ネットワーク
40	H22		萩山・小川団地九条の会
44	H22	特定非営利活動法人	ACTたすけあいワーカーズ小平らいふえいど
45	H22		小平IT推進市民グループ
46	H22	特定非営利活動法人	アトリエ・パンセ
47	H22		ボーイスカウト小平第一団
48	H22		ガールスカウト東京都第 176 団
50	H22		小平少年少女青空学校
52	H22		小平市障害者団体連絡会
53	H22	社会福祉法人	つむぎ おだまき

54	H22		合唱団「みらい」
55	H22		小平市自治基本条例市民の集い
56	H23		パソコン復習塾
57	H23		自転車スイスイ
60	H23		K. K. メンネルコール
62	H23	特定非営利活動法人	こども未来研究所 こあっぽあーと・あるあーと
65	H23		ダンスパフォーマンス集団 迫-HAKU-
66	H23		小平おもちゃの病院
70	H23	公益社団法人	小平市シルバー人材センター
72	H23	特定非営利活動法人	こだいら自由遊びの会
73	H23		国立精神・神経医療研究センター病院家族会「むさしの会」
74	H23	特定非営利活動法人	ラスキア
75	H23		市民プラザこだいら
77	H23	特定非営利活動法人	ぶるーべリー愛犬ふぁみりー協会
80	H23		小平朗読教室「ひびき」
81	H24	特定非営利活動法人	MYstyle@
82	H24	認定特定非営利活動法人	だれもがともに小平ネットワーク
86	H24		たまり場フォーティワン
87	H24	特定非営利活動法人	小平市民活動ネットワーク
89	H24		小平ユネスコ協会
90	H24		小平リカバリーフラッグ
91	H24		熟年いきいき会
92	H24		音の会
93	H24		こだいら平和コンサート・合唱団どれみ
94	H24		グリーン研究会
95	H24		小平要約筆記サークル「ほおずき」
96	H24	特定非営利活動法人	障がい者職業支援 飛行機雲
98	H24		原発にさよならを／小平の会
99	H24	特定非営利活動法人	こだいらソーラー
101	H24		小平都市計画道路に住民の意志を反映させる会
104	H25		こだいら市民活動まちづくりネットワーク 2012
106	H25		小平Nゲージレイアウトサークル
107	H25		アロマサロン
109	H25	特定非営利活動法人	子育てサポートきらら
110	H25		学び舎江戸東京ユネスコクラブ
111	H25		やすらぎコンサート Sana(さ～な)
112	H25		安心・安全ウォークネット罫
114	H25		親業でグッドコミュニケーション ラ・ピース

115	H25		プアナ・ティアレ
116	H25	一般社団法人	相続後見シニアサポート多摩
117	H25		点字の会「てんとう虫」
120	H26		日本太極柔力球小平支部
121	H26		さよなら原発 オール小平をめざす会
122	H26	特定非営利活動法人	こども未来ラボ
123	H26		小平市身体障害者協会
125	H26		ブルーベリーパラダイス
127	H26		小平はぐくみプロジェクト
129	H26		小平市脳卒中患者友の会
131	H26	特定非営利活動法人	ライフデザインむすび
132	H26		災害ボランティア未来
133	H26		苔玉会
134	H26		親子リトミックサークル ピッコロ
135	H26		こだいら国際協力プロジェクト Seed
136	H26		3. 11等に学ぶ小平の減災を考える会
137	H27		小平井戸の会
138	H27		小平市民後見を考える会
139	H27		玉川上水ストーリーテラズ
143	H27		憲法カフェ@なかまちテラス
144	H27		中央大学小平白門会
145	H27		コーダー道場こだいら
146	H27		コミュニティ・プラネット s in 小平
147	H27		ごはん＆小麦の幸せ時間
148	H27		ここふらっと～こだいら・こども・こそだてプラットフォーム～
151	H28		小平市民まちづくり互助会
152	H28		はなこ哲学カフェいどばたのいどほり
153	H28		小平市テニス協会
154	H28		「そうぞう」の場づくり スペースまる
156	H29		小川体操
157	H29		Koi（こい）の会
158	H29		LPG
159	H29	特定非営利活動法人	終活支援センター 桐中会 小平事務所
160	H29		シルバー大学第 30 期OB会
161	H29		ザ・小平Jazz 座
162	H29		アイデア発明クラブ
163	H30		小平シャイニング
164	H30		小平日本語ボランティアの会・小川西町

165	H30		小平 FM 懇話会
166	H30		コミュニティ・サロンほっとスペースさつき
167	H30		みんなでつくる音楽祭 in 小平 実行委員会
168	H31		藍なり
169	H31		Comi Cafe
170	H31		小平・ワーカーズまちの縁がわ ちっちゃいおうち
171	H31		マジックむさし会
172	H31		小平・環境の会
173	H31		昔あそび応援団
174	H31		平和と未来のひろば・小平実行委員会
175	H31		鈴の会
176	H31		ここ・ちあーず
177	H31		東京 2020 オリンピック・パラリンピック小平市民プロジェクト
178	H31		東京ファシリテーションクラブ小平
179	H31		多胎児サークルこだついん
180	H31	一般社団法人	小平青年会議所
181	H31		iPhone を楽しむ会
182	H31		にじいろパズル
183	H31	認定特定非営利活動法人	コミュニティケアリンク東京
184	H31		高齢者社交ダンス虹の会 社交ダンス普及会
185	H31	一般社団法人	こだいら観光まちづくり協会
186	H31		ヒッポファミリークラブ萩山
令和元年度末 あすぴあ登録団体数 132			

11. 経費の収支状況

令和元年度経費収支状況		単位:円
	令和元年度実績	内訳
収入合計	18,051,118	
1 指定管理料	17,881,100	
2 雑収入	170,018	印刷機・コピー機・プリンター使用料
経費合計	17,801,967	
1 人件費	9,943,652	常駐スタッフ昼間 2 名、夜間 1 名、センター長の給与手当等
2 事務費	63,587	文房具、用紙、カラープリンターインク
3 管理費	3,208,796	印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、消耗什器備品費、コピー機・パソコン等賃借料、保険料、諸謝金、支払手数料、雑費、一般管理費
4 事業費	3,434,632	市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロン、NPOフェスタ、閲覧用図書、あすぴあ通信、むすぶ、こだい人財の森等
5 消費税・法人税等	1,151,300	

